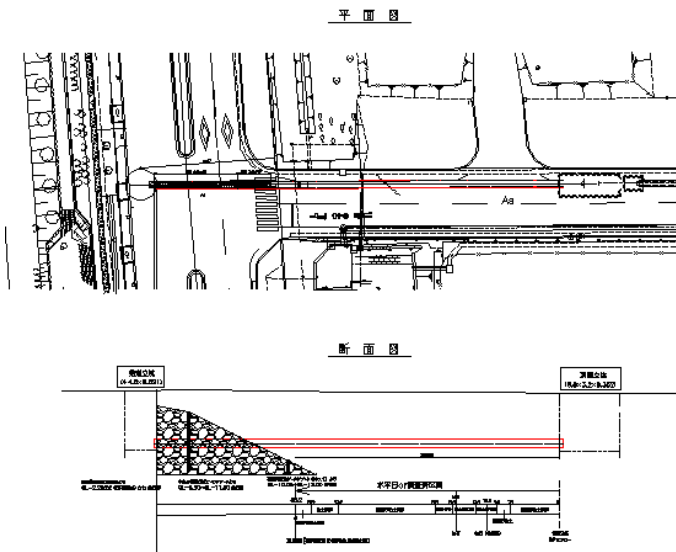


▲実績2(三重県四日市市)伊勢湾横断ガスパイプライン設置工事
 施工概要



呼び径: φ1000mm
 推進延長: 68.47m

捨石、砂質土
 N値: 50
 礫率 80%
 最大礫径: 1000mm
 地下水位: GL-2.80m
 土被り: 平均 6.9m

地中障害物: 旧護岸石積(巨礫)ワイヤーカゴ、
 テトラポット
 (発進～30m区間)

工期: 昼間施工(8h)2ヶ月
 (2012.12.2～2013.1.25)



φ1000mm ミリングモール掘進機

発進後すぐに石積(巨礫)ワイヤーカゴ、テトラポ

ット区間約 20mを掘削後、残り 38mを通常推進しました。



発進立坑掘削時に出土した旧護岸石積(巨礫)



発進立坑掘削時に出土した旧護岸石積(巨礫)
 巨礫径(1300mm×900mm×900mm)



捨石状況(15リング目)



Con支障物状況(15リング目)



Con支障物状況(15リング目)



コンクリート取壊(15リング目)

発進立坑掘削時に出土したテトラポット

この現場は、旧護岸石積(巨礫)の出土にくわえ事前の磁気探査の結果、何らかの金属反応があるため、ミリングモール工法の採用となりました。発進立坑掘削時の石積群やテトラポット等の出土はφ1000mmの呼び径に対し、非常に大きく切削困難なものでした。推進管もミリング専用のローリング防止機能付き合成鋼管を使用しました。施工中には巨礫の破砕片とワイヤーが出土し、金属反応はこのワイヤーであり、ワイヤーカゴに入った巨礫であったのではと思われた。



推進中に排出したワイヤー片